7月10日（金曜日）「祝福の特徴」

【新改訳 2017】

箴言　10•22

「主の祝福そのものが人を富ませ、人の苦労は何もそれに加えない。」

　ここには、主の祝福の特徴が述べられています。１つは、主の祝福は人を富ませるのであって、貧しくしたり、不幸にしたりすることはないということです。「主の祝福は人を富ませる、主はこれになんの悲しみをも加えない」（協会訳）とも訳されます。主の祝福は、人を物的に、あるいは霊的に豊かにすること以外のことはしないのです。

　もう１つは、主の祝福（そのもの）が十分なものであって、人間の苦労が何かを付け加えたりするものではないということです。私たちは案外、苦労話が好きです。そして、ある種の誇りをもちたい気になります。確かに「苦労」にはそれなりの意味も教訓もありますが、主の祝福に何かを付け加え

るものではないのです。主は「わたしの恵みは十分です」と言われました。心から感謝して栄光を主に帰しましょう。

～祈り～

主よ。あなたの恵みは私に十分です。自分のなした何かのゆえに祝福されるかのような錯覚から守ってください。

【学びのために】

IIコリント 12•9 参照。